





# 実践事例

県内の3組6校の小学校において、既存のICT機器なども活用しながら、より効果的な協働学習の進め方について研究しています。

教科	社会	単元名	奈良県の特徴ある地いきの人々の暮らし
学校名	五條市立阪合部小学校 第4学年 14名 五條市立野原小学校 第4学年 16名		
授業のねらい	・奈良県内の伝統や文化を産業に生かしている地域について調べ、それぞれの地域の特徴やよさについて考える。		
学習活動		教師の指導・援助	
導入	1. 前時までを振り返り、本時の学習課題を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを提示する。</li> <li>・奈良県の特徴ある地域について調べたことを発表し、県内の各地域の特徴を比較しながら考えることを伝える。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">地いきの特徴を比較して、奈良県の特徴を考えよう</div>		
展開	2. 調べたことを発表する。 ○奈良市○大和郡山市○宇陀市菟田野○広陵町・大和高田市○御所市・高取町・橿原市○吉野町○桜井市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の資料を電子黒板に表示する。</li> <li>・相手校にも内容がきちんと伝わるように、声の大きさや資料の示し方などに気を付けさせる。</li> </ul> 	
	3. 地域を比較して奈良県の特徴を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表内容を視点ごとに比較し、ワークシートに共通点などをまとめ、奈良県の特徴について考えさせる。</li> </ul> 	
まとめ	4. 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地の特徴や地形、気候などをうまく生かしているから産業として受け継がれていることや、それを守り続けようとする人々の工夫や努力があることに気付けるようにする。</li> <li>・振り返りを交流させる。</li> </ul>	



…主に ICT を活用して協働学習を行う場面

ICT を活用した協働学習を実施して
<p>○教員の感想…パソコンを使うと、友達と相談しながら自分の考えをまとめるときに、訂正や付け加えが容易である。一方で、電源を切ると考えたことが残らないので、ノートに書き写すなどの時間が必要になる。</p> <p>○児童の感想…一人で考えるのは難しかったけど、みんなで考えると分かった。自分が考えていなかったことを、友達が言っていたからすごいと思った。</p>

教科	国語	単元名	カンジーはかせの音訓かるた
学校名	御杖村立御杖小学校 第3学年 5名 曾爾村立曾爾小学校 第3学年 5名		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んでかるた取りゲームに参加する。</li> <li>・音訓を意識し、送り仮名に注意して、3年生までに学習する漢字を理解する。</li> </ul>		
学習活動		教師の指導・援助	
導入	1. 本時のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TV会議システムを利用し、T1が示す本時のめあてを両校で共有できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">となり村の友だちとかるた大会をしよう</div>	
	2. かるた取りゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み札を読むのが難しい場合の支援として、あらかじめ読み札の裏面に振り仮名を振っておく。</li> <li>・カメラの位置を調整し、かるた取りの様子が相手校に伝わるようにする。</li> </ul> 	
展開	3. 相手校の児童のお気に入りのかるたを紹介する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵札の裏面に書いたかるた文を音訓に注意して読み、かるたの文や絵などを根拠にそのよさを伝えるよう助言する。</li> </ul>	
	4. 各校の1位の児童を表彰する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ児童が作ったデジタル表彰状に、相手校の児童の名前を、ローマ字表を参考に入力し、画像を転送し、表彰する。</li> </ul> 	
まとめ	5. 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同でかるた大会をした感想を交流する。</li> </ul>	

…主に ICT を活用して協働学習を行う場面

ICT を活用した協働学習を実施して
<p>○教員の感想…他校の児童を意識して、より面白いかるたをつくろうという意欲の高まりを感じた。また、協働学習の回数を重ねるにつれ、授業に一体感が生まれ、一つの学級のような感じがしてきた。</p> <p>○児童の感想…いつもと違う友達に発表するのははずかしかったけど、発表の仕方をよく考えました。自分たちが発表した後、いっぱい感想を言ってくれたのでうれしかったです。</p>

教科	算数	単元名	マテマランドの探検
学校名	川上村立川上小学校 第6学年 1名 東吉野村立東吉野小学校 第6学年 7名		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の工夫の仕方を積極的に考え、話し合いに参加する。</li> <li>・計算の仕方を図にかいて、筋道立てて考える。</li> </ul>		
学習活動		教師の指導・援助	
導入	1. 本時の【問題】を知り、学習課題を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配り、図にかくことで規則性を見付けさせる。</li> <li>・つまずきが見られる児童には助言をする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1から40までの数をたすたし算を、ガウスの計算方法で考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分の考えを、文字や図にかいて分かりやすく説明しよう。</div>		
展開	2. グループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートをグループに1枚配布し、相談しながら記入させる。</li> </ul> 	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオ通話ソフトを使用してグループごとに解き方や分かったことについて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことをそれぞれのグループが発表をする。</li> <li>・自分たちの解き方との相違点を意識させながら聞かせる。よく分からないところは、質問し合うように促す。</li> </ul>	
まとめ	3. 解決方法を先生役の学校の児童が皆に説明する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方を図で表したり、文字に書いたりしながら、相手に分かりやすく説明する意識をもたせる。</li> </ul> 	
	4. 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で分かったことや感想を発表させる。</li> </ul>	

…主に ICT を活用して協働学習を行う場面

ICT を活用した協働学習を実施して
<p>○教員の感想…相手校の児童の考えを聞き、一人では思い付かない方法を知り、感動していた。また、離れた場所にいる友達に自分の考えを伝えるために、より分かりやすく説明する方法を工夫する児童の姿が見られた。</p> <p>○児童の感想…図の説明で、相手校の友達が分かりにくそうにしていたので、今度、図をかいて説明するときには、分からないと言われたいです。</p>

# ICT を活用した協働学習を行う学校

本事業では、県の南部・東部地域にある3組6校の小学校において、ICTを活用した協働学習を行っています。

# 小規模校における協働学習を活性化するためのICT活用事業

## Bグループ

高画質ビデオ会議システムを利用して、小学校3年生の国語と総合的な学習の時間において、ICTを活用した協働学習を実施。



五條市立野原小学校

## Aグループ

電子黒板とタブレットを連携させる協働学習支援ツールを利用して、小学校4年生の算数と社会において、ICTを活用した協働学習を実施。



五條市立阪合部小学校



曽爾村立曾爾小学校



御杖村立御杖小学校



東吉野村立東吉野小学校

## Cグループ

ビデオ通話ソフトを利用して、小学校2年生の生活、6年生の算数において、ICTを活用した協働学習を実施。



川上村立川上小学校



近年、加速する少子化の影響により、奈良県においても、クラス替えができないだけでなく、1学級の児童生徒数が10名前後の学級をもつ小規模校が増えてきています。小規模校や少人数学級では、多様なものの見方や考え方、表現の仕方に触れたり、切磋琢磨する環境で学んだりすることが難しいなどの特有の課題が見られます。これらの課題の改善とともに、より質の高い教育を目指して、タブレットパソコンなどのICT機器を活用し、異なる学校の教室と教室を結び、協働学習を活性化するための取組を行っています。